

令和7年度 長野県土づくり研修会開催要領

1 趣 旨

近年、異常気象や長期的な気候変動の影響により、農業生産の現場では、かつてない課題に直面している。降水パターンの変化、気温の上昇、干ばつや湿害の発生などは、土壌の劣化や作物へのストレスを引き起こし、持続可能な農業の実現に大きな影響を及ぼす。こうした中で、堆肥などを活用した土づくりは気候変動に強い農業経営を支える基盤として、その重要性が一層高まっている。そこで、最新の知見や実践事例を共有し、地域の実情に応じた持続可能な土壌管理のあり方を共有する研修会を開催します。

2 主 催 長野県、J A長野中央会、J A全農長野、(一財)長野県農林研究財団

3 共 催 (一社)長野県畜産会、長野県環境にやさしい農業推進会議、信州土壌医の会

4 日 時 令和7年11月13日(木) 午後1時30分～午後4時30分

5 場 所 長野県総合教育センター講堂(塩尻市大字片丘南唐沢6342番地4)

6 内 容

(1) 講 演「気候変動時代の圃場づくり

～水をコントロールし、作物に最適な環境を～(仮)」

講師：農研機構中央農業研究センター 江波戸 宗大 上級研究員

(2) 情勢報告

ア 「県内の家畜ふん肥料成分の特徴と傾向」(畜産試験場 古畑研究員)

イ 信州土壌医の会の活動紹介

ウ マイクロプラスチック問題について(J A全農長野)

(3) その他(各種補助事業・認証制度に関する情報提供・農業技術課)

ア 2050ゼロカーボン戦略について

イ みどり交付金・環境保全型農業直接支払交付金制度について

ウ 環境にやさしい農業実証ほ事業について

エ みどり法認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度について

7 参集範囲

県内農業者、市町村、県(農業農村支援センター、農業大学校、農業関係試験場、園芸畜産課)、J A長野中央会、J A全農長野、J A、県畜産会、県農業会議、県農業開発公社、県農業共済連、県農業経営者協会、県農業士会、全国肥料商連合会長長野県部会、関係肥料資材メーカー、信州土壌医の会

8 参加申込み(定員：100名程度 ※先着順)

令和7年11月6日(木)までに、下記URL又は二次元バーコードより申込みフォームへアクセスし、必要事項を入力の上、送信してください。

<https://forms.office.com/r/xtjxiru9Zf>

